

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 生活協同組合おかやまコープ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒701-0296 岡山県岡山市南区藤田564-178	
本票作成	部署名：総合マネジメント室				
主たる業種	分類コード	8	7	業種名：生活協同組合	
事業の概要	供給事業、共済事業、福祉事業 総事業高：403.1億円 職員数：正規職員462人、定時職員1,803人 事業所：本社、商品センター(藤田本部)、店舗12、配送センター17、福祉施設(デｲｰﾋﾞｽ)2				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	藤田本部・商品センター		岡山市南区藤田564-178	
	②	コープ大福		岡山市南区大福314	
	③	コープ総社東		総社市総社1370-3	
	④	コープ築港		岡山市南区築港元町14-1	
	⑤	コープ西大寺		岡山市東区西大寺上3丁目8-41	
⑥	コープ鴨方		浅口市鴨方町鴨方1524-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 33 所 ●車両台数 (②該当の場合) 214 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	18,088 t CO ₂			17,184 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	藤田本部・商品センター		3,295 t CO ₂					
	②	コープ大福		1,498 t CO ₂					
	③	コープ総社東		1,422 t CO ₂					
	④	コープ築港		1,341 t CO ₂					
	⑤	コープ西大寺		1,197 t CO ₂					
⑥	コープ鴨方		1,093 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			kg CO ₂ / ()	kg CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・作業手順の見直しを行うことと合わせ、エネルギー効率のよい機器に随時更新し、省エネ法と同様、年1%の温室効果ガスの排出削減に取り組みます。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心に環境負荷削減計画プロジェクトを結成します。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 ・配送センター ・店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房時の設定温度の徹底。 ・不要な照明の消灯とパソコンを30分以上使用しない時には電源を切ることの徹底。 ・BDF燃料使用の配送トラックを9台配置。 ・照明インバータ安定器交換。 ・ショーケースへの防露ヒーターコントローラ取付。 ・冷凍ショーケースへのナイトカーテン取付。 ・老朽化エアコン更新。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
<ul style="list-style-type: none"> ・配送センター ・コープ大野辻 ・コープ大福 	<ul style="list-style-type: none"> ・BDF燃料使用の配送トラックの配置を増加させる。 ・リニューアルに伴いエアコン等設備を更新予定。 ・老朽化エアコンの更新。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・総合マネジメントシステムを導入し、その中での「重点管理目標」の一つとして取り組みます。
- ・総合マネジメントシステムを全社員へ教育を行い、徹底を図ります。
- ・冷暖房の使用電力を低減させるため、本部でのクールビズ、ウォームビズ運動に継続して取り組みます。